

# 東日本経友会通信

## 技能実習適正化法の改正案が審議入り

「技能実習」に代わる「育成就労」創設や永住許可の適正化を柱とする出入国管理・難民認定法と技能実習適正化法の改正案が、4月16日の衆院本会議で審議入りしました。

実態として労働力確保に利用され、国際社会から人道的な避難もあつた技能実習制度を廃止し、外国人材の「確保と育成」を目的とする実態に即した制度に転換。今国会の重要範囲議案のひとつで、審議の節目に岸田首相が「政府見解を説明することになっています。」

今国会で法案が成立すれば公布後3年以内の施行となりますので、新制度は2027年の運用開始が見込まれます。

また、これまで原則できなかった別の企業に移る「転籍」については、一定の技能と日本語能力があれば同じ分野にかぎり認めるとしたうえで、最初の受入れ先で働く期間を職種ごとに1年から2年の範囲で定められることになりました。

### 派遣時給1696円、過去最高

求人情報会社が4月17日発表した3月の派遣平均時給（三大都市圏・募集時）は、1696円となり、前月比プラスに転じ、前年同月比は、19ヶ月連続のプラスとなつて過去最高を更新しました。

地域別では、関東が1786円、東海が1476円、関西が1490円となっております。

ることも盛り込まれています。

小泉法相の答弁でも「転籍について民間職業紹介事業者を関与させないとした狙いは」との質問に、「制度の目的が阻害されないような人材の過度な引き抜きが生じないように、当分の間、民間事業者の関与は認めない」と説明しました。

このほか、「育成就労制度への急激な変化が技能実習生として在留している外国人や受入企業・関係者に不利益や悪影響を与えないか」との問いに、小泉法相は「現制度を利用して関係者に不利益が生じないよう、十分な移行期間を確保するとともに、育成就労制度の施行後も一定の期間は技能実習を認めている」と説明しました。

22日以降、衆院法務委員会に場所を移して本格審議を始めました。受入れ職種等、課題も多くあります。法案成立後も現場の意見を政府に届けていきます。 須藤 康則

### 円安加速外国人労働者大きな影響

特定技能等の外国人労働者10名が働いている福岡県の特別養護老人ホームでは、施設で働いている外国人のほとんどが、母国の家族に送金をしています。しかし、円安が進み、送りに深刻な影響がでております。「先が見えない」との理由で帰って、カナダやヨーロッパに行った知人も増えているとのこと。

### 「55」の指示は要注意

ミャンマーの送出し機関の日本語先生からのお話です。

以前、ミャンマーでは現在、日本語学習ブームという話題を書かせていただきましたが、熱心に学習して来日してくる実習生も沢山あります。そんな実習生からの相談で多いのが「いいよ」トラブルです。

- ①相手に許可を与える「いいよ」
- ・いいですよ・OK
- ②相手に許可を与えない「いいよ」
- ・こればやらなくていいよ・ダメ
- ③相手を褒める「いいよ」
- ・いいですね！・すごいですね
- ④相手に色々許可を与える「いいよ」
- やりたければいいよ

実習生からの相談で多いのが「いいよ」と言われたので残業をしたら日本人の先輩に怒られた。ミャンマーに限らず、外国人の方は、「いいよ」は「許可をもらった」と理解する発音と意味のようです。比較的簡単であるはずの日本語が誤解を招きます。互いにすぐに改善するのは難しいですが、我々もまずは日本語の複雑さを改めて理解することが大切だと感じております。

### 「クールビズ」実施いたします

弊組合では、地球温暖化防止対策、並びに省エネルギー対策、及び社員の健康維持（熱中症リスクの軽減）の一環として「クールビズ」を実施いたします。

実施期間 5月1日～9月30日  
社員一同、組合員の皆さまに不快感を与えない対応を心がけて参りますので、ご理解お願い申し上げます。